

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 27 年度

市町村名	志木市					
提案事業名	(仮称)世代交流館もくせい設置事業					
事業期間	26年度 ~ 26年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 平成27年度からの事業完全実施に向けたアンケート調査による満足度					
	(成果検証の具体的な方法) それぞれの事業で、平成27年度の完全実施に向けた市民の要望と現状の事業（平成26年度に実施した事業）についてのアンケート調査を実施する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	Ⓐ B C
	従前値 (26年4月時点)	—	目標値 (27年3月時点)	50%	実績値 (27年3月時点)	52.90%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		市広報紙、ホームページ等を通じ、市民への公表を行う。				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成26年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 世代間交流事業	○	ふれあい館「もくせい」にある多世代交流カフェにおいて、世代交流事業の一環として、どの年代でも楽しむことができ、交流も図れる事業を展開することができた。
② 子育て支援事業	○	多世代交流カフェの開所時間に、子育て中の親子や地域の方など誰でも安心して自由に集い、おしゃべりや情報交換出来る場を提供したり、既存の「放課後子ども教室」事業をリニューアルし、高齢者の参加できる事業を開催するなど、子どもと高齢者の触れ合う場を提供した。
③ (仮称) 世代交流館もくせい設置事業	○	世代間交流の施設として新しく利用することから、案内板の変更やパンフレットなどを新しく刷り直し、施設のPRを行った。 また、防犯カメラを設置をしたことにより、不特定多数の人が出入りする施設の防犯体制が強化された。
④		
⑤		
⑥		

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	「もくせい」まつりで、アンケート調査を実施したところ、また来てみたいかという設問に、来てみたい(52.9%)・内容によっては来てみたい(37.3%)と回答された方が、全体の約90%であった。また、来場者も多い順に60代、40代、10歳未満と幅広い年齢層の市民の方が参加してくれていることから、事業としては、十分に成果があったと考える。
実施事業について 成果が不十分である点	
成果検証を踏まえた 今後の改善策	施設の満足度についてもアンケート調査を実施し、満足(48.7%)・やや満足(19.7%)と回答された方は全体の約68%であった。ただし、ここ最近では、施設利用者の固定化が進んでいるため、新たな集客をしていくことが必要となってくる。